



今回の調査で収集された手紙



手紙の電子データ化作業の様子

クーリッジ氏の曾孫のクリス・ジーターさん、
東北大学と世界防災フォーラムの研究チーム

関東大震災の際に 日本人学生が書いた手紙を アメリカで収集

関東大震災の国際支援と 当時の日本人の想いを調査

8月の第1週、東北大学と世界防災フォーラムの研究チームは関東大震災当時のアメリカ大統領であるカルビン・クーリッジ氏の関連施設を訪ねました。

2023年の世界防災賞の選定・授与を通じてクーリッジ財団などと連絡をとっていた世界防災フォーラムは、関東大震災の直後に日本人学生がアメリカに宛てたお礼の手紙が今も保管されていることを知りました。そこでクーリッジ氏の曾孫であるクリス・ジーターさんをお願いし、世界ではじめて手紙のデータコピーをさせていただきました。

また、クーリッジ財団やForbes図書館、ホイットフィールド 万次郎友好記念館などを訪問して資料収集や学芸員の方へのインタビューを行い、何がクーリッジ氏を支援に突き動かしたのかを調査しました。

震災当時は飛行機も国際電話もない時代であり、アメリカでは日本人移民の排斥運動などもありましたが、クーリッジ氏は横浜の被災を知ったその日のうちに大々的な支援を決断し、どの国よりも早く日本に支援を届けました。結果、アメリカの支援は現在の物価に換算して約200億円超にのぼり、海外からの支援全体の68%を占めました。

この支援に対して日本人学生が書いたお礼の手紙が、今回アメリカで収集した750通の手紙です。

手紙を書いた全国の学生の情報を探 しています

私たちは手紙を書いた全国の学生の情報を探しています。学生の名前は殆どがローマ字表記のみのため、誰が書いたのかもよくわかっていません。

何かご存知の方がいらっしゃいましたら、お話を伺いたいのでは是非ご連絡ください。



手紙を書いた生徒
さんの学校名を掲
載しています



福島県安積高等学校を訪問

安積歴史博物館を訪問しました。

東北大学と世界防災フォーラムの研究チームは10月17日、関東大震災の資料調査のため福島県郡山市を訪れ、福島県立安積高等学校、安積歴史博物館を訪問しました。

校内に所在する安積歴史博物館では、当時の校長が書き残した業務日誌を拝見しました。震災直後の9月3日には集会で震災のことに触れ、学校として生徒から20銭を集め、義援金を拠出していた事実がわかりました。また、9月下旬には東京からの転入生を受け入れており、遠く離れた福島県でも震災避難者に迅速な支援を実施していたことが資料から読み取れました。

安積高校放送部・新聞部により取材いただきました

同日、安積高校放送部・新聞部より研究チームの取り組みについて取材いただきました。インタビューでは、国難とも言える規模の震災に対する国際協力の重要性や、礼状の持つ意味、大災害から身を守る術などについてお話しさせていただきました。

今回の調査と取材は、2023年9月に横浜国大で実施された「ぼうさいこくたい」で安積高校OBの方が財団のブースにお立ち寄りいただいたことがきっかけで実現しました。研究チームも課外活動に真摯に励む高校生を見て力をもらうことができました。世界防災フォーラムはこれからもこういった人のつながりを大切に活動して参ります。本当にありがとうございました。

サイエンスアゴラ 2023 に出展します

科学と社会を
つなぐ**5日間**

サイエンスアゴラ 2023

オンライン開催 2023 10月26日(木)~28日(土)
実地開催 2023 11月18日(土)~19日(日) 10:00~17:00 入場 無料

©Alessandro Bionetti / 世界の広がる学問の境 (Gakken)

日時：2023年 11月18日(土) 16:00-17:00

入場料：無料

会場：お台場テレコムセンタービル 1階 オープンスペースA

イベントの詳細はサイエンスアゴラ2023ホームページをご覧ください

企画番号：18-1A16

企画名：関東大震災から100年～防災におけるコレクティブインパクトの創出に向けて

出展者名：世界防災フォーラム×東北大学災害科学国際研究所 (IRiDeS) ×防災・災害支援アップデート研究会 (事務局：NPO法人ETIC)

企画概要：今年は関東大震災から100年の節目の年です。次なる首都直下地震や南海トラフ地震など、発生確率の高い自然災害の脅威に、どう備えれば良いのか。1つの鍵は組織を超えた平時のつながりを生かした「コレクティブインパクト」の創出です。本セッションは、防災や災害支援に取り組む実働者が一同に会し、国際協調の構築に向けた好事例の振り返りや、新たな技術や仕組みを社会実装させるための「協同型支援訓練」の推進など、それぞれが持つ知見や経験を交換するための場として実施するものです。来る災害に向け、多くの方の参加をお待ちしています。

ご寄付のお願い

世界防災フォーラムの活動は皆さまからのご寄付によって支えられています。

いただいたご支援は世界防災フォーラム開催などの事業や日々の私たちの運営費に活用されます。



ご寄付はこちらから